

学校と授業は、このように変わります ~具体的な改善内容~

授業時数の増加など

今回の改定で、国語・社会・算数・理科・体育の標準授業時数が6年間で約1割増加しました。週当たりの標準授業時数が1、2年生で週2時間、3～6年生で週1時間増加しました。5、6年生で週1時間の外国語活動が必修となりました。

※1 算数・理科の授業時数は、移行期間である平成21年度から増加しました。

※2 週当たりの授業時数は、移行期間である平成21年度から全学年で週1時間増加しました。

●標準授業時数(1単位時間は45分です)

教科等\学年	1	2	3	4	5	6
国語	306	315	245	245	175	175
社会	—	—	70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	—	—	90	105	105	105
生活	102	105	—	—	—	—
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭	—	—	—	—	60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間	—	—	70	70	70	70
外国語活動	(10)	(10)	(10)	(10)	35	35

・1～4年までの「外国語活動」10時間は、横須賀市独自の設定です。

横須賀の外国語活動

横須賀市では、すでに全校にALT*を配置して、1～4年生まで年間10時間、5年生と6年生で年間35時間の「外国語活動」を導入しています。外国語活動は、技能や知識の習得を目的としているのではなく、英語の歌やゲーム、子どもにとって身近なコミュニケーションの場面などを設定して英語の音声に慣れ親しみ、人とかかわることの楽しさや言葉の豊かさに気付くことができるような活動を行なながら「コミュニケーション能力の素地」を養うことを第一のねらいとしています。

*ALT Assistant Language Teacher
(外国人指導助手)

道徳教育を充実させます

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行われており、道徳の時間（週1時間）は扇の要（かなめ）のような役割を果たしています。全学年を通して自立心や自律性、自他の生命を尊重する心や、あいさつなどの基本的な生活習慣、法やきまりの意義の理解、相手の立場を理解し、支え合う態度などを学びます。



健やかな体を育てます

生涯にわたって運動に親しみ、健康的で豊かなスポーツライフを実現できるように、一人一人に応じた体力の向上を目指します。小学校では多様な動きを身に付けることができるよう、体づくり運動を低学年から行い、心身の健康の保持増進のため、健康・安全に関する学習を充実します。

教科書も新しくなりました

新学習指導要領に対応して教科書も新しくなりました。ページ数は平均で25%増え、発展学習や繰り返し学習など、児童の理解の程度に応じた指導ができるように、様々な工夫が取り入れられています。教科書に記述された内容はすべて教えなければならないものではなく、児童の理解の程度に応じて教科指導の充実を図ります。

学習評価を指導に生かします

学習評価は、これまでと同じように学習指導要領の内容の達成度をみる「目標に準拠した評価」によって行われています。通信簿などを通じて、児童の学習成果や学習の進み具合などを保護者の皆様にお伝えし、ご家庭と一緒に学習の仕方などについて考えるよう努めます。学校の説明をお聞きいただき、お子様の家庭学習の充実に生かしてくださるようお願いいたします。

情報教育を充実させます

情報活用能力は「生きる力」をはぐくむうえでとても大切なものです。情報化の影の部分も子どもたちに大きな影響を与えており、情報モラルについても指導します。横須賀市では、すべての一般教室でパソコンとプロジェクタを活用できる学習環境を整えています。

インターネット上の様々な問題から子どもたちを守るために、ご家庭との連携が必要です。十分なご理解とご協力をいただきまますようお願いいたします。



言語の力をはぐくみます

言語活動は、考える力、コミュニケーション、感性・情緒の基盤となるものです。そのため、国語をはじめ各教科等で、知識・技能を活用してレポートの作成や論述を行うなど、言語の力を高める学習を行います。

理数の力をはぐくみます

- ・算数→大切な内容を反復（繰返）して学習します。また、学習の中に作業的活動や体験的活動などを取り入れて、考え、判断し、表現する力をはぐくみ、学ぶことの意義、楽しさを実感させます。
- ・理科→科学的な見方や考え方を育成するために観察・実験を充実させます。